

根域制限栽培のもも「日川白鳳」の糖度向上に有効な収穫前土壌水分管理法

〔要約〕 もも「日川白鳳」は根域制限栽培の場合、収穫前12日程度は灌水を1～2回程度に抑える方が糖度の高い果実が生産できる。

長崎県果樹試験場・落葉果樹科

専門

栽培

対象

果樹類

分類

指導

平成4年度長崎県果樹試験場業務報告

〔背景・ねらい〕

ももの根域制限栽培は樹体の生長を抑えることができるため、密植栽培が可能で初期収量も高いが、従来の栽培法より綿密な土壌水分管理が要求される。特に収穫直前の土壌水分は果実品質との関連が深いと考えられたのでこの点について検討し、収穫前の適切な灌水程度を明らかにした。

〔成果の内容・特徴〕

- ①灌水を期間中まったく行わない場合は土壌pF値は3.0以上で推移する。また、灌水間隔が長いほど土壌pF値は高く推移する（図1）。
- ②収穫した果実の糖度は6日間隔灌水と無灌水で高い（表1）。
- ③灌水程度は果実重と果皮の着色に影響はない（表1）。

〔成果の活用面・留意点〕

- ①本試験は安山岩質の土を使い、樹1本当たりの土量300ℓで試験を行ったが、土質あるいは土量によって土壌の乾燥程度が異なることが考えられる。
- ②長期間にわたる過乾燥は落果の発生を助長するので注意する。

[ 具体的データ ]

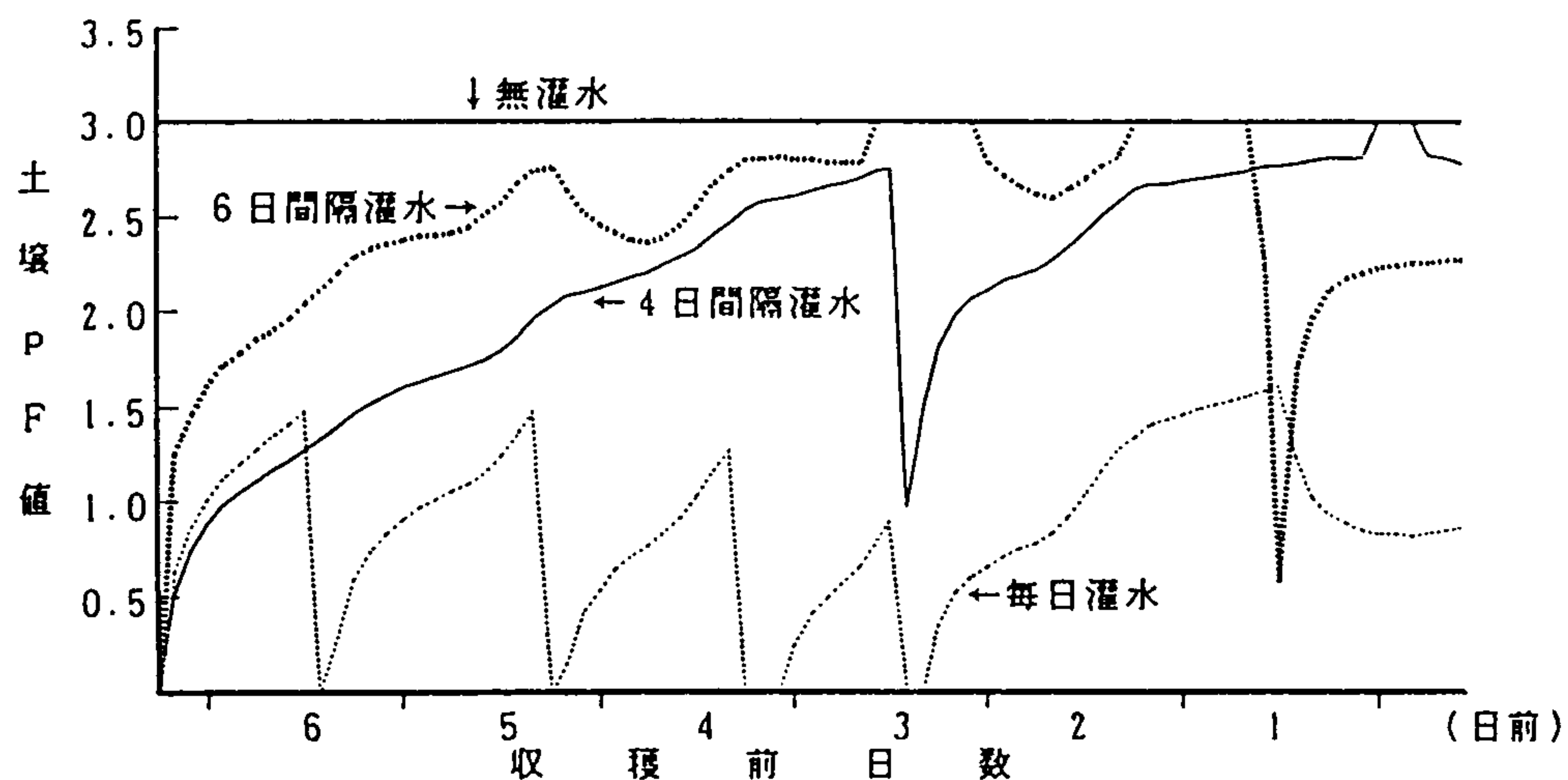


図1 灌水間隔と土壌pF値

表1 収穫前の灌水程度と果実重、着色度、糖度及び果実品質

処 理	果実重 (g)	着色度 <sup>*</sup>	糖 度	p H
毎 日 灌 水	139.0a <sup>*</sup>	7.0a	10.3c	4.46ab
4 日 間 隔 灌 水	138.1a	7.3a	11.4bc	4.43ab
6 日 間 隔 灌 水	157.8a	8.1a	12.8a	4.50a
無 灌 水	145.3a	7.5a	12.5ab	4.34b

<sup>\*</sup> 着色度：全面着色を10としてその割合で算出

<sup>\*</sup> 縦の異なる文字間には5%レベルで有意差あり

[ その他 ]

研究課題名：特定果樹の栽培に関する試験

予算区分：県単

研究期間：平成4年（昭和58年～）

研究担当者：林田誠剛、森田 昭

既発表論文等：平成4年度長崎県果樹試験場業務報告

残された問題点：さらに早い時期の土壌水分が果実肥大や品質に及ぼす影響について検討する必要がある。